

環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)に関する取り組み

取組テーマ及びアクション		当期概況と今後の取り組み		
環境 Environment ●みんなの地球の 空気のために	脱炭素化の推進	気候変動	【気候変動緩和及び適応】(CO2排出量削減)モーダルシフト化※、営業車のハイブリッド化、再生エネルギー導入を継続的に推進。 <small>※トラック輸送から環境負荷の小さい鉄道や船舶輸送へ転換する「モーダルシフト」を推進し、エステー株式会社九州工場において「エコルールマーク」、エステー株式会社において「エコシップマーク」の認定を取得。</small>	
	再資源化の推進	汚染・資源	【汚染の防止】工場単位での廃棄物の削減・リサイクルと、省エネルギー活動を継続。 【持続可能な資源の利用】部署別の空調管理、インフォモニターでの啓蒙活動などを継続。	
		製品・サービス	【健康的な生活の確保】森の天然成分「クリアフォレスト」の技術で花粉対策製品「MoriLabo」を発売。 【環境配慮商品の開発】日本初のエコマーク認定ボトル※を採用したホテル・旅館向け客室専用消臭ミスト「Air Forest Botanical (エアフォレスト ボタニカル)」を発売。 <small>※公益財団法人日本環境協会による消臭剤容器での認定。</small> 【プラスチック量削減】容器回収・再利用事業「Loop」への参画、製品設計での省ゴミ、省プラスチックなどを推進。	
社会 Social ●明るく元気な 暮らしのために	誰もが明るく 元気になる取組みの推進	顧客への責任	【消費者の安全衛生の保護】品質に関する議論などを行うPL委員会を定期的に開催。	
			【消費者データ保護及びプライバシー】個人情報保護法に基づき、管理体制を整備し定期的に確認を実施。	
			【公正なマーケティング、情報及び契約の慣行】ウェブサイトに商品・お役立ち情報、品質情報などの掲載を継続。	
			【消費者に対するサービス及び支援並びに苦情及び紛争の解決】 お客様相談室で、製品のよくある質問や使用方法、苦情等へのサポートを継続。	
	働く社員が明るく 元気になる取組みの推進	労働慣行	人権	【倫理基準】倫理基準を順守した行動・人権の尊重・差別の禁止。
			ワーク・ライフ・バランス	【労働条件及び社会的保護】 時間単位年休制度、積立休暇制度、育児・介護時差勤務制度、テレワークやフレックスタイム制度を導入し多様な働き方を推進。 【雇用及び雇用関係】長時間労働の抑制として、業務の見直しなどを継続。
			ダイバーシティ	【女性活躍推進】女性が活躍できる雇用環境の整備、男女ともに働きやすい職場環境づくりの推進。 女性取締役比率(30%)、女性管理職比率(12%)
			労働安全衛生	【健康経営宣言・ノーハラスメント宣言】全ての従業員の身体と心の健康づくり、元気で活力のある職場環境づくりの推進。 【労働における安全衛生】事業継続計画(BCP)のもと、防災訓練など点検・是正・改善を継続。 衛生管理活動を行う衛生委員会(産業医を構成員とする)を定期的に開催。
			人材開発	【人材成長の支援】階層別研修・キャリアデザイン研修・語学・マーケティング能力開発支援の実施。 【職場における人材育成及び訓練】eラーニングなど、教育プログラムを継続。
			従業員とのコミュニケーション	【社会対話】労働組合などとの対話を継続。社員意識調査・社員相談窓口・社内イントラネットの活用推進。
地域社会への貢献	【持続可能な産業化(新規雇用)、持続可能な森林の経営】 北海道庁との包括連携協定により、トドマツの利用促進・知名度向上と地域の産業振興を継続。			
	【文化事業】ミュージカル全国公演 市民と共に作り上げるミュージカル開催。 <small>※2020年は新型コロナウイルス感染予防のため、公演中止。</small>			
	【災害・福祉支援】被災地支援を実施。			
	【教育支援】近隣地域の小・中学校の職場体験学習等の受け入れを実施。			
ガバナンス Governance ●誰に対しても、 「誠実」で最も信頼さ れる会社であるために	透明性と実効性のある 体制の構築	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス体制	【企業統治の体制】ガバナンス形態として、指名委員会等設置会社を採用。 取締役10名のうち社外取締役5名 うち、独立社外取締役3名。(2021年6月現在)
			役員報酬	【取締役及び執行役の報酬】企業価値向上に資するための報酬体系を原則とし、報酬委員会にて方針及び基準を決定。
			リスク管理・内部統制	【リスク管理の徹底】事業継続計画(BCP)策定等のリスクの認識及び対策を行うリスク管理委員会を定期的に開催。 【内部統制】組織の業務の適正性確保のため、体制整備・改善活動を推進。
			情報開示	【投資家向け情報の開示】ホームページでIR情報開示、決算説明会・マーケティング戦略説明会の開催。
	コンプライアンス・腐敗防止	【コンプライアンスの徹底】ヘルプライン窓口の設置。 コンプライアンスに関する教育及び啓蒙活動を行うコンプライアンス委員会を定期的に開催。		
		情報セキュリティ	【情報セキュリティの徹底】情報資産の適切な保護・管理を推進する情報セキュリティ委員会を定期的に開催。	
		サプライチェーン・マネジメント	【調達・物流方針】再生可能な原材料の調達を追求。ホワイト物流※への賛同及び自主行動宣言の提出。 <small>※「ホワイト物流」推進運動は、深刻化するトラック運転者不足に対応するために、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保し、経済の成長に寄与することを目的として、①「トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化」、②「よりホワイトな労働環境の実現」に取り組む運動</small>	